

全日本スキー連盟公認スキー指導員検定合格報告

亀山 友邦
(アーミン)

スキーシーズン中盤となり雪量豊富ながらも、コロナ禍において皆様それぞれのシーズンをお過ごしのことと思います。

さて、私亀山友邦は2月19日～21日の日程にて開催されました、全日本スキー連盟公認スキー指導員検定会（第三会場 菅平スノーリゾート）を受験し「合格」しましたことをご報告させていただきます。



まずは、受験機会を承認いただきました板橋区スキー協会会長以下、理事会、協会の皆様全員にお礼申し上げます。ありがとうございました。

板橋区スキー協会には1級取得後に入会、しばらくの間は協会行事にも参加すること無く個人的なスキーライフで過ごしていましたが、子供のスキーデビューがきっかけでジュニアスキー教室をはじめとする講習会にサポート役含めて参加させていただくようになり、その中で、正しい理論と示範を身につける必要性を痛感するに至り、3シーズン前には準指導員資格取得を取得させていただきました。

準指導員としては協会教育部行事にて講師活動の機会を頂戴し、受講生と楽しみながら上達を助ける役割、一つの行事を完遂することに充実感を感じながら、指導員資格取得への意欲を高めることができました。自己研鑽の必要性から、ポルトレーニングや大会等の競技部行事にも積極的に参加させていただき、滑走の技術習得は当然ながら、準備や後片づけといったチームワークの重要性も学び、感銘を受けました。

板橋区スキー協会は歴史と実力を兼ね備えたクラブであり、協会の皆様全員が真剣に運営と滑走に力を注いでいます。今後も微力ながら発展に貢献していく所存です。

続いて、アーミンスキークラブ会長以下、事務担当者様、クラブ員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

アーミンスキークラブは子供のスキーデビューと時を同じくして2016年に結成されたクラブです。私は協会個人会員でしたが当時の協会理事長のお誘いで結成初年度より加入させていただき、すばらしいメンバーとともに技術研鑽に励むことができました。シーズン数回の講習行事ではクラブ員・ビジターを対象に講師を務め、クラブ行事らしくリラックスした雰囲気での経験値向上の機会をいただきました。私を含めて3名の指導員体制となりましたが、若手・ジュニアのクラブ員から次なる指導者が誕生していける土壌づくりと機会提供や、クラブ員増加など益々の発展に意識的に取り組んでいきたいと思っております。これからも頑張ろう！

最後にスキーでお世話になっている皆様にお礼申し上げます。

社会人になりスキーを再開した際から家族でお世話になり1級に導いてくださった黒姫高原の皆様、年末年始に妻の実家で暇するのが嫌な私にスキーの楽しさを教えてくださった青森の皆様、マテリアルの最新情報と体験の提供をくださいましたメーカーの皆様、暖かいお部屋とおいしい食事を提供くださったダボスタカシマヤの皆様、受験を通じて切磋琢磨したスキー好きの皆様、家族、ありがとうございました。

受験準備は準指導員合格直後からスタートしていたと思います。滑りの質を高めるために家族の理解のもと時間の許す限り雪上に立ちました。準指導員合格後、計98日の滑走で総滑走距離は1700kmに及びました。各関節の働きと動かし方、上体や腕の向きや角度が滑走性に与える影響など動作の重要性を理解したうえで、オンピステ、オフピステ、ポールといった様々な条件を経験しながら確認し技術を高め、競技大会やプライズ検定への参加で緊張のコントロール力を高め、各種講習会の講師として示範力も高めて受験シーズンに備えました。養成講習会は学びの場ではなく確認の場と位置付け、これまでの準備の棚卸しを行い、概ね良好な評価を得られたことから検定会当日もリラックスして滑走することができました。結果発表で自分のゼッケン「111」を目にした時は驚きや喜びはそれほど感じず「よかったなあ」と安堵の気分でした。

今後も、日本のスキー界にはほんの少しでも貢献できるよう自己研鑽に励み、謙虚に、多少の理不尽には耐え、新たなスキーヤーを生み出す指導者を目指してまいりますので、皆様におかれては引き続きのご指導ご鞭撻を賜れますようお願い申し上げます。

